

## 目次

序

目次

1	調査経過	3
2	食堂の歴史と既往の成果	4
	（1）薬師寺の創建と食堂の歴史	4
	（2）既往の調査	5
3	検出遺構	6
	（1）調査前の地形と基本層序	6
	（2）食堂に関わる遺構	9
	（3）食堂造営前の遺構	15
	（4）食堂廃絶後の遺構	16
4	出土遺物	17
	（1）瓦 磚 類	17
	（2）土器・土製品	21
	（3）金属製品・石製品・銭貨	22
6	結 語	23
	（1）薬師寺食堂の建築	23
	（2）食堂の造営と廃絶	25
	報告書抄録	26

## 例言

1. 本書は薬師寺旧境内保存整備事業にともなう平成24年度の発掘調査概要報告書である。
2. 調査は法相宗大本山薬師寺の委託を受けた独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所都城発掘調査部（平城地区）が、平成24年9月24日から平成25年3月22日にかけて実施した。
3. 調査は、箱崎和久・馬場 基・芝 康次郎・石田由紀子・荒田敬介が担当し、早川和賀子（九州大学大学院）、加藤 瑛が参加した。また、石材の鑑定は脇谷草一郎・田村朋美があたった。
4. 調査にあたっては、文化庁、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会の協力を得た。
5. 本調査は、都城発掘調査部（平城地区）の平城第500次調査として実施したもので、各遺構には平城京左京における調査基準にしたがい一連の番号を付した。発掘遺構図の座標値は、世界測地系（平面直角座標系第Ⅵ系）による。
6. 本書の作成は、副所長・深澤芳樹の指導のもと調査員全員であたり、全体の討議を経ておこなった。編集は石田由紀子が担当した。各項目の執筆は以下のとおりである。  
1～3・6（2）：石田由紀子、4（1）：川畑 純、4（2）：芝 康次郎、4（3）：神野 恵、  
6（2）：箱崎和久
7. 遺構・遺物の写真は、中村一郎・栗山雅夫・杉本和樹・鎌倉 綾が撮影した。
8. 表紙題字は薬師寺山田法胤管主の手によるものである。